

2. 市町村の取り組み

次世代へより良い 環境を引き継ぐ社会

～豊かで持続可能な森林づくり～

今回は栲原町が栲原森林づくり大学構想の一環として、林業・田舎暮らしに興味のある方を対象に行った、地元林業家との交流や、現場作業等を実体験する「**第1回 森林づくり体験ツアー（栲原町）**」をご紹介します。



雲の上の町 ゆすはら

愛媛県との県境、高知県の北西部にある栲原町は、高知市内から車で約2時間。日本3大カルストに数えられ標高1455mにもなる四国カルストの麓に位置し、町面積の91%を森林が占める自然豊かな山間の小さな町です。

町内には新国立競技場を手がけたことで知られる建築家 隈研吾氏が設計した「雲の上の図書館」「栲原町総合庁舎」や「雲の上のギャラリー」等多くの建築物があり、自然と調和した隈研吾建築を生活の中で楽しむことができます。

また、全国に先駆けて自然エネルギー(風力・地熱・太陽光・木質ペレットなど)の利用に町をあげて取り組んでおり、2009年には国から「環境モデル都市」の認定を受けています。そして栲原町森林組合では、間伐材を活用した木質バイオマスの地域循環利用の取り組みが評価され、国際的な審査機関である森林管理協議会(FSC:本部ドイツ)が環境に配慮した適切な森林管理を進める森林を認証する、FSC森林認証制度の認証を団体としては国内で初めて取得しています。



気候

- 年平均気温：13.4℃
- 最高気温：36.0℃
- 最低気温：-10.2℃
- 年間降水量：2,630mm
- 積雪：中央部 0.3m～0.6m
北部山岳地域 1.0m～1.5m

種類	面積 (ha)
スギ	7,101
ひのき	5,135
松・栲	1,062
天然林	4,799
合計	18,097

第1回 森林づくり体験ツアー（栲原町）



今回の参加者は関東、中京、関西から集まった6名、広告代理店の営業さん、祖父の山で林業をやっている方、引退後の暮らしを真剣に考えている方等、現在の暮らしがありながらも、皆一様に栲原への移住・田舎暮らしと林業を生業とする生活に興味をもって応募してきたと口々に話す。

【日時】令和3年10月15日(金)～17日(日) 【参加人数】6名

【スケジュール】

- 10月15日(金)…12:30 高知駅北口集合～(移動)～14:30 栲原町役場 オリエンテーション～15:15～(移動)～15:30 木質ペレット工場(ゆすはらペレット(株))・製材所見学(栲原町森林組合 森林価値創造工場)～17:00～(移動)～17:15 宿泊所着～18:00 夕食
- 10月16日(土)…9:00 栲原町役場～(移動)～9:30 植樹体験～(移動)～12:00 昼食(農家レストラン くさぶき)～(移動)～13:30 伐倒現場見学～14:30～(移動)～15:00 チェーンソー体験～16:30～(移動)～17:00 宿泊所着～18:00 夕食
- 10月17日(日)…9:00 木造施設見学(役場→図書館→マルシェ)～10:30～(移動)～12:30 高知駅着、解散

1日目：オリエンテーション、ペレット工場・製材所見学

オリエンテーション

1日目は高知市高知駅に各自で集合し、そこから約2時間で栲原町役場に到着、オリエンテーションでは、栲原町森林の文化創造推進課 立道 斉 課長より、町の紹介と地域おこし協力隊制度を活用したReMORI構想、栲原森林づくり大学構想について説明を受けました。



3. 支援制度の紹介

機械のレンタルを支援します。

機械のレンタル

作業道を作設するためのバックホウや、林内で間伐した丸太を運ぶための林内作業車などの林業機械のレンタルに対して支援をします。

▶レンタル料等を補助します。

補助対象経費	補助率等	補助要件
レンタル及び回送に要する経費(消費税を除く)	2分の1以内 レンタル期間は3か月以内	バックホウ(0.25m規格相当以下)、林内作業車、ダンプトラック等、木材の集材・運搬に必要な機械

上記の
お問合せ 高知県木材増産推進課
TEL.088-821-4876

安全装備の導入を支援します。

安全装備

労働災害を防止するために着用する安全装備等の導入に対して支援をします。

▶安全装備購入費等を補助します。

補助対象経費	補助率等	補助対象品
安全装備等の購入費 ただし、指定された3つの特別教育をすべて受講した者	定額 ただし、1人当たり4万円が上限	保安帽、防振手袋、チェーンソー防護服など

上記の
お問合せ 林業労働災害防止協会高知県支部
TEL.088-856-5721

製材所・木質ペレット工場見学

その後、梶原町役場からほど近い、梶原町森林組合が運営する製材所と、第三セクターゆすはらペレット株式会社が運営する木質ペレット工場を見学しました。



2日目：植樹体験、伐倒現場体験、チェーンソー体験

2日目は植樹体験からスタート、講師に梶原町地域林政アドバイザー松山さんをむかえ、皆伐後の斜面に広葉樹(ホオノキ、トチノキ)を各25本植樹しました。急斜面には整備された林道はもちろん無く、朝からハードな山登りでしたが、参加者は松山さんや地域おこし協力隊の先輩の手を借りながら、「登ってくるのは大変だったけど、梶原の森林を創るお手伝いできて嬉しいです。」と、これからの梶原の森林を創る木々をしっかりと植樹していました。

植樹体験



伐倒現場見学 一川上木材一

農家レストラン くさぶさで昼食に舌鼓を打った後は、地域おこし協力隊の受け入れ先でもある、川上木材さんの施業地で実際に伐倒から架線を使った集材まで、林業の現場を見学しました。

●講師：川上木材 川上 政志さん、川上 周一さん

政志さんは梶原町の林業若手メンバーの研究会「CoMORI」の副代表でもあります。

政志さん：人も減ってきて、若い人にも魅力のないものと思われてると思うけど、誰かが手入れしないといけない、循環を作ることも大事、やりがいはあると思う。

周一さん：技術のいる仕事、上手くやればお金になる。減価償却を考えながら、

お金も借りながら、事業計画をしっかりと立てながらやらないといけない。機械を買ったらそれを休まず、仕事を回転良く回さないといけない。仕事を休めんがが悩みやけど(笑)、やったらやったばあ身になるき面白い!



はじめてのチェーンソー体験

体験ツアーラストを締めくくるとは講師に谷田 真吾さんを迎え「はじめてのチェーンソー体験」。ヘルメット、グローブ、チャップスを身に着け本格的なチェーンソーによる玉切りを行いました。最初はおっかなびっくりだった参加者でしたが、2回、3回と繰り返すうちにコツを掴み全員が初めてとは思えないチェーンソー捌きを見せていました。少し興奮気味に「爽快感があった、バッテリーとエンジンでは全然違う!小さい木はきったことがあったが大きいのは初めて。欲を言えば立ってる木を伐って倒したかった。」と語る参加者。



繋げていく「ゆすはらの森林」

体験ツアーを終え参加者は気色ばみながら熱がこもった様子でこう語る。「親と祖母が梶原の出身、コロナ禍と子供が生まれた事をきっかけに、田舎への移住・林業を真剣に考えている。もっと梶原のこと、林業のことを知りたい。」



「山で仕事してる人は荒っぽイイメージだったが優しい、ざっくばらんで川上のおじいちゃんと一緒に酒を飲んだら楽しそう! あんなご高齢で元気にやっている、自分も頑張れる自信になった。」
「高知の人は皆さん優しい、こんな歓待を受けて本当に嬉しい。」

役場が見据える今ある課題と移住から定住への取り組み

なぜ今のタイミングなのか?

立道課長「梶原町でも林業技術者の高齢化は大きな課題、後継者がいなくなることがみえている、また山主の高齢化もあり恩恵を受けてもらう最後のタイミングに来ている。梶原が梶原らしい姿を守り、豊かで持続可能な森林づくりを続けていくには、次の山の担い手を育てる事が急務。『梶原に移住してほしい』林業をきっかけに梶原に定住してくれればと本当に期待している。地域おこし協力隊の制度を活用したのは、わかりやすく、来る方にも安心感があり理解が得られやすいから。ReMORIを中心とした移住・定住、林業人材の育成は始まったばかり、梶原の森のこれからの100年を守る後継者、移住者を梶原町では広く受け入れていきます。」

林業の担い手確保のために支援します。

間伐

自分で、自分の山の手入れをする場合

対象林齢	11~60年生	31~60年生	
事業名	公益林保全整備事業 (保育間伐)	森林整備支援事業 (搬出間伐)	
事業規模	0.1ha以上/施行地		
伐採率	30%	30%	20%
補助条件 など	保安林又は市町村森林整備計画に規定する公益的機能が高い森林で集約化が困難な人工林	国庫補助事業の対象とならない人工林	
補助金額	定額 80,000円/ha	定額 183,000円/ha	定額 122,000円/ha

作業道

間伐材の搬出等を行うために必要な作業道を整備する場合

補助事業内容	補助金額	
	路面整備	開設
作業道路網の種類		
作業道1.5m(幅員2.0m未満)	1mあたり100円	1mあたり500円
作業道2.0m(幅員2.5m未満)	1mあたり130円	1mあたり800円
作業道2.5m(幅員3.0m未満)	1mあたり150円	1mあたり1,000円
作業道3.0m(幅員3.0m以上)	1mあたり200円	1mあたり1,500円

上記のお問合せ

高知県木材増産推進課

TEL.088-821-4602

現場での技術指導や安全対策を支援します。

アドバイザー派遣

小規模林業を実践する方からの要請に応じ、作業道の開設、間伐木の選定、搬出間伐等の現場指導ができる林業実践アドバイザーを派遣します。派遣日数は最大3日間まで、会員の方の自己負担はありません。

▶派遣アドバイザーに支払う報償費を補助します。

補助対象経費	補助率等	補助要件
①アドバイザーへの報償費 ②アドバイザーへの旅費	定額。 ただし、報償費は1日当たり2万4千円、宿泊費は7千3百円、旅費は9千円を上限とします。 (※派遣日数は1人当たり最大3日間まで。1回/年限り。) (※通算で3年間しか利用できないものとします。)	アドバイザー派遣を申請する者が会員であること

先進地現地研修

小規模林業を実践する方からの要請に応じ、作業道の開設、間伐木の選定、搬出間伐等の現場指導ができる林業実践アドバイザーの事業地を訪問する事業です。

▶現地アドバイザーに支払う報償費を補助します。

補助対象経費	補助率等	補助要件
アドバイザーへの報償費	定額 ただし、報償費は1日当たり2万4千円を上限とします。 (※派遣日数は1人当たり最大3日間まで。1回/年限り。) (※通算で3年間しか利用できないものとします。)	先進地現地研修申請者が会員であること

現場での安全対策を支援します。

保険

作業中の思いがけない事故による怪我への補償に備えて、傷害総合保険への加入に対して、助成をします。

▶保険加入に要する掛金を補助します。

補助対象経費	補助率等	補助要件
傷害総合保険加入に要する掛金	2分の1以内 ただし、掛金は1人当たり2万7千円以内 ※補助額1万3千5百円が上限	傷害保険加入者が会員であること

医療

労働安全衛生の向上を目的に、小規模林業を実践する方が、蜂刺され対策として医療機関に支払う医療費に対して、助成をします。

▶蜂刺され対策として医療機関に支払う経費を補助します

補助対象経費	補助率等	補助要件
蜂刺され対策として、医療機関に支払う経費 ※経費対象は、蜂アレルギー血液検査、処方登録受託医師診察料、自己注射管理指導料、自動注射器購入費、毒液吸出し救急用具、スズメバチ忌避剤 他	2分の1以内 ※自動注射器購入については1人1個までとし、購入費の補助金の額は5千円を上限	購入者が会員であること

上記のお問合せ

林材業労働災害防止協会高知県支部

TEL.088-856-5721

4. 専用LINEアカウントの開設・ホームページの紹介

小規模林業推進協議会 LINE公式アカウント

支援制度のご案内や自伐林家の取材記事などを配信しています。

QRコードからぜひ友達追加をしてみてください！



【URL】 <https://kochi-shoukiborin.jp/>

会員の活動事例や支援制度の紹介、協議会の開催など様々な情報を掲載していきます。

ぜひ、御覧ください。

小規模林業

検索



小規模林業 動画

※タップ後の遷移先は「<http://kochi-shoukiborin.jp/p/>」です。

写真が動く!?を
体験しよう!

無料アプリ「COCOAR」を
ダウンロードして動画を見よう!

このパンフレットのマークのある写真に
スマートフォンをかざすと写真が動き出します!



「COCOAR」
ダウンロード



COCOAR

※紙面から外すとフル画面に変わります。
※動画を押しと一時停止～再生が可能です。

使い方

- ① アプリを起動
- ② 写真をスキャン

③ 紙面で動画が流れます

- ④ 写真をタップで 次のスキャンへ